

(仮称) 久喜市新ごみ処理施設整備運営事業
審査講評

令和4年6月

久喜市PFI等審査委員会（新ごみ処理施設整備事業）

(仮称) 久喜市新ごみ処理施設整備運営事業 審査講評

目次

1. 事業概要.....	1
1) 事業名称.....	1
2) 事業場所.....	1
3) 事業内容.....	1
4) 事業期間等.....	2
2. 審査概要.....	3
1) 入札方法.....	3
2) 落札者決定までの経過.....	3
3) 審査委員会の設置.....	4
4) 審査委員会の開催経過.....	4
3. 審査手順.....	5
1) 第一段階の審査.....	7
2) 第二段階の審査.....	7
4. 提案審査及び価格審査における点数化方法.....	9
1) 提案審査における評価の視点及び点数化の方法.....	9
2) 価格審査の点数化の方法.....	11
5. 審査結果.....	12
1) 資格審査.....	12
2) 基礎審査.....	12
3) 提案審査.....	12
4) 価格審査.....	12
5) 総合評価.....	12
6) 最優秀提案者の選定.....	13
5. 審査講評.....	14
1) 提案審査の講評.....	14
2) 総評.....	15

1. 事業概要

1) 事業名称

(仮称) 久喜市新ごみ処理施設整備運営事業

2) 事業場所

埼玉県久喜市菖蒲町台2770番地1他（菖蒲清掃センター用地及び隣接地）約40,000m²
（うち、約7,000m²は余熱体験啓発棟を想定。）

3) 事業内容

(1) 事業目的

久喜市（以下「市」という。）から排出されるごみは、久喜宮代衛生組合が所有する、久喜宮代清掃センター、菖蒲清掃センター及び八甫清掃センターの3施設で処理しているが、いずれの施設も老朽化が進んでいる。本事業は、平成29年3月に策定した「久喜市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」において、効率的なごみ処理運営、施設の集約化による合理的なごみ処理体制の構築等を目指して、令和3年2月に策定した「久喜市ごみ処理施設整備基本計画」に基づき、3箇所の清掃センターを菖蒲清掃センターに統合し、公園及び余熱体験啓発棟と一体性を考慮して市内全域のごみ処理を行う「（仮称）久喜市新ごみ処理施設」を整備することを目的とする。

(2) 施設の概要

①（仮称）久喜市新ごみ処理施設

（仮称）久喜市新ごみ処理施設の概要は、燃やせるごみを処理するエネルギー回収型廃棄物処理施設、燃やせないごみや粗大ごみを処理するマテリアルリサイクル推進施設、管理棟の3施設（総称して「エネルギー回収施設等」という。）及びストックヤード棟の合計4施設から構成されるものとする。

②現施設の解体撤去等

現施設の解体撤去等は、菖蒲清掃センターの解体工事を行い、外構及びストックヤード棟の整備工事を実施するものとする。

(3) 事業の概要

本事業は、市が所有するエネルギー回収型廃棄物処理施設等の整備及び運営を一括して民間事業者を実施させるとともに、長期複数年にわたり（仮称）久喜市新ごみ処理施設の運営を包括的に委託する、いわゆるDBO（Design Build Operate デザイン ビルド オペレート）方式により実施する。

また、（仮称）久喜市新ごみ処理施設の運営を長期複数年にわたり安定的に継続させるために、本事業を実施する民間事業者（以下「事業者」という。）は、（仮称）久喜市新ごみ処理施設の運営の遂行のみを目的とした会社法（平成17年法律第86号）に規定する株式会社（以下「運営事業者」という。）を設立することとし、当該運営事業者が事業者とともに（仮称）久喜市新ごみ処理施設の運営を実施する。

事業者は、現施設が稼働している間にエネルギー回収施設等を整備し、市に引き渡したうえで運営事業者とともにエネルギー回収施設等の運営を実施する。

引き続き、事業者は、エネルギー回収施設等の引き渡しの後に菖蒲清掃センターの解体工事を行い、外構及びストックヤード棟の整備工事を行うものとする。

(4) 事業の概要

本事業において事業者及び運営事業者が実施する主な業務を次の①から③までに示す。

①経営管理業務

本事業を長期複数年にわたり安定的に継続させるための運営事業者自らの経営管理業務

②施設整備業務

(仮称)久喜市新ごみ処理施設を整備するために必要な次の業務

A 設計業務

B 建設業務

C 解体業務

③施設運営業務

(仮称)久喜市新ごみ処理施設を運営するために必要な次の業務

A (仮称)久喜市新ごみ処理施設の運転管理業務

エネルギー回収施設及びリサイクル施設の運転管理等とする。

B (仮称)久喜市新ごみ処理施設の維持管理業務

(仮称)久喜市新ごみ処理施設の補修・更新、清掃管理、樹木等植栽管理、警備、周辺住民等との協働、安全衛生管理・防災管理、情報管理(各種記録等の作成・保管)、その他(仮称)久喜市新ごみ処理施設の維持管理に必要な業務等とする。

C 施設運営業務期間終了時の市への引継ぎ業務

(仮称)久喜市新ごみ処理施設の業務完了時の引継ぎ業務とする。

4) 事業期間等

本事業は、本事業の実施に関する契約(以下「事業契約」という。)の締結日から令和29年(2047年)3月末までの約24年間を事業期間とする。

そのうち、施設整備期間は、事業契約の締結日から令和11年(2029年)3月末日までの約6.5年間とする。また、施設運営期間は、(仮称)久喜市新ごみ処理施設(ストックヤード棟を除く)の引渡日の翌日から2047年3月末日までの約20年間とする。

2. 審査概要

1) 入札方法

価格及びその他の条件が最も有利な提案をした者を決定する総合評価一般競争入札（地方自治法（昭和22年法律第67号）第234条第3項及び地方自治法施行令第167条の10の2第1項に定める一般競争入札をいう。以下同じ。）により事業者を決定する。

2) 落札者決定までの経過

落札者決定の経過は、表1のとおりである。

表1 落札者決定の経過

西暦	月日	項目
令和3年 (2021年)	9月6日	入札公告
	9月6日～同月21日	入札説明書における入札参加に必要な入札参加資格要件等に関する質問（第1回）の受付期間
	9月28日	入札説明書に関する質問（第1回）への回答の公表
	9月6日～同月28日	入札参加資格確認申請受付期間
	10月12日	入札参加資格確認結果の通知発送
	10月19日～同月22日	入札参加資格がないと認められた者に対する理由の説明の受付期間
	10月19日～11月2日	入札説明書を含む事業全般に関する質問（第2回）の受付期間
	10月28日	入札参加資格がないと認められた者に対する理由の回答
	11月19日	入札説明書に関する質問（第2回）への回答の公表
	11月19日～同月25日	入札参加者ヒアリングの参加申込期間
	11月26日	入札参加者ヒアリング日時の通知
	12月20日	入札参加者ヒアリング
令和4年 (2022年)	1月9日～同月14日	入札説明書を含む事業全般に関する質問（第3回）の受付期間
	1月28日	入札説明書に関する質問（第3回）への回答の公表
	3月25日	入札書及び事業者提案書の提出
	5月22日	提案内容ヒアリング、提案審査
	5月24日	開札
	5月30日	価格審査、総合評価、最優秀提案者の選定

3) 審査委員会の設置

審査は、公平性及び透明性を確保し、専門的知見に基づく評価を目的に、学識経験者5名の委員により構成される久喜市PFI等審査委員会（新ごみ処理施設整備事業）（以下「審査委員会」という。）において行った。

【委員の構成】

委員長	荒井 喜久雄	公益社団法人全国都市清掃会議 技術指導部長
副委員長	川寄 幹生	埼玉県環境科学国際センター 資源循環・廃棄物担当 担当部長
委員	藤原 周史	一般財団法人日本環境衛生センター 東日本支局 環境事業本部 環境事業第三部 部長
委員	宮脇 健太郎	明星大学 理工学部 総合理工学科 環境科学系 教授
委員	山口 直也	青山学院大学大学院 会計プロフェッション研究科 教授

4) 審査委員会の開催経過

審査委員会の開催経過は、表2のとおりである。

表2 審査委員会の開催経過

回数	開催日	議事内容
第1回	令和3年6月2日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備基本方針 ・審査委員会スケジュール ・プラントメーカー意向等調査 ・実施方針(案)、要求水準書(素案)、モニタリング計画(素案)
第2回	令和3年6月25日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・特定事業の選定(案) ・落札者決定基準(素案)、提出書類の記載要領(素案) ・要求水準書(素案)
第3回	令和3年8月6日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・落札者決定基準、提出書類の記載要領 ・入札公告(入札説明書等、契約関係書類)
第4回	令和3年12月20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・入札参加者ヒアリング
第5回	令和4年5月22日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・提案審査ヒアリング ・提案審査
第6回	令和4年5月30日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・価格審査 ・総合評価 ・最優秀提案者の選定 ・審査講評

3. 審査手順

落札者決定における審査は、4つのステップ「資格審査」、「基礎審査」、「提案審査」、「価格審査」で構成され、「総合評価」で落札者を決定する。

入札の公告から契約締結に至るまでの流れは図1に示すとおりである。

【STEP1：資格審査】

市は、参加表明書に合わせて、入札希望者の実績が定められた参加資格要件を充足しているか確認を行う。

【STEP2：基礎審査】

市は、事業者提案書（基礎審査及び非価格要素に関する提案内容）の提出書類等の確認及び要求水準等を満たしているかの確認を行う。その際に必要であればヒアリングを行う。

【STEP3：提案審査】

審査委員会は、非価格要素に関する提案内容について審査を行う。その際には記載内容についてのヒアリングを行う。

【STEP4：価格審査】

市は、入札書に記載された入札価格が予定価格を超過していないことの確認を行い、審査委員会に報告する。審査委員会は、報告を受けて入札された価格より価格点の算出を行う。

【STEP5：総合評価】

STEP3の提案審査の点数とSTEP4の価格審査の点数を合わせて総合評価の点数とする。

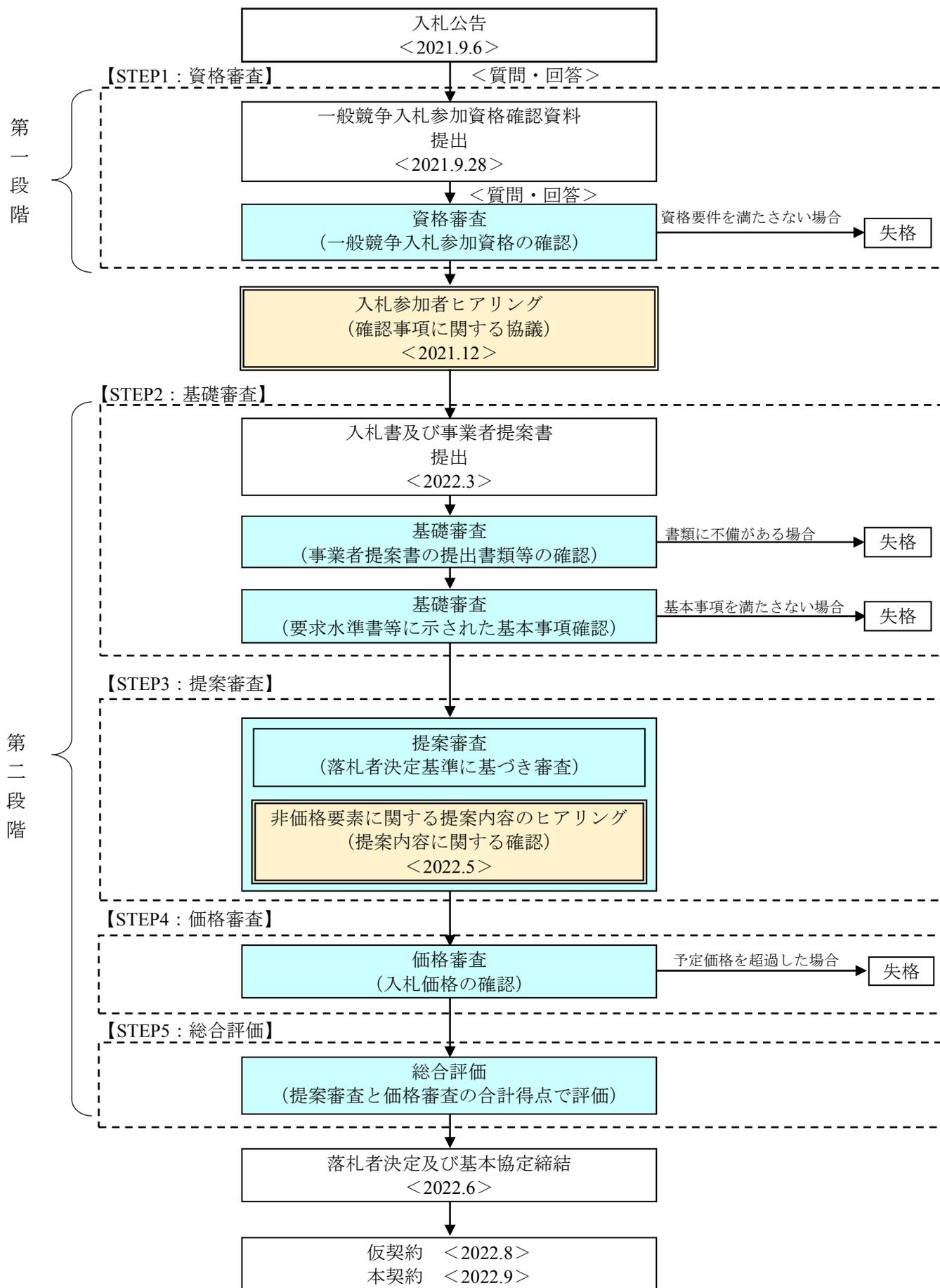


図1 契約締結までの流れ

1) 第一段階の審査

(1) 資格審査

市は、入札希望者から提出された資格審査申請書等から、「競争参加資格」を満たしていることを確認し、結果を入札希望者に対し通知する。

資格審査の確認は、「競争参加資格の確認（資格審査）」に示す方法により行う。なお、参加資格要件を満たしていない場合は失格とする。

2) 第二段階の審査

(1) 基礎審査

市は、資格審査を合格した入札参加者から提出された事業者提案書について、要求水準書等の入札説明資料等に示された性能要件を満足するものであること、事業としての妥当性を有しているかの審査を行う。

以下に、基礎審査における評価の視点を示す。なお、要求水準書等に示す基本事項を満たしていない場合は失格とする。

・提出書類等の確認

提出書類等の不足、体裁の誤り、書類間での記載の不整合など、事業者提案書として適切なものとなっているか確認を行う。

・契約条件の遵守

入札説明書等において記載した契約条件を遵守しているか確認を行う。

・事業計画の妥当性

経営管理に係る事業者提案書を確認し、設定した費用や収支が妥当であるか確認を行う。

・要求水準書等に示された基本事項の確認

事業者提案書と要求水準書等を対照させ、要求水準書等に記載された満足すべき性能に達しているか確認を行う。

(2) 提案審査

審査委員会は、基礎審査を合格した入札参加者から提出された事業者提案書における、**表3**に示す非価格要素に関する評価項目について審査を行う。

提案審査の評価の視点及び点数化の方法については、4. 提案審査及び価格審査における点数化方法に記載する。

なお、提案審査を行うにあたっては、別途、ヒアリングを実施する。

(3) 価格審査

市は、入札書に記載された入札価格が予定価格を超過していないことを確認を行い、審査委員会に報告する。審査委員会では報告を受けて入札価格を点数化する。点数化の方法は、4. 提案審査及び価格審査における点数化方法に記載する。

表3 非価格要素に関する評価項目

	事業の基本条件	非価格要素に関する評価項目
I.安全で安定的に処理が可能な施設	長期間のごみ量、ごみ質による変動にも対応し、安定して稼働できる施設	(1)長期間のごみ量、ごみ質の変動への対応
	事故やトラブル等が少ない安全で安定的な施設	(2)安全で安定的な施設運営 (3)安全で安定的な運転、維持管理
	大規模災害が発生した際にも安定して稼働できる強靱な施設	(4)防災、減災に対応した施設、プラント設備
II.環境に配慮した施設	最新の廃棄物処理システムを導入し、循環型社会形成の推進に寄与した施設	(5)循環型社会形成の推進に寄与するための公害防止性能
	環境保全対策の充実を図り、周辺環境に影響を及ぼすおそれのない施設	(6)環境負荷の低減に寄与するための省資源化への対応
	搬入された廃棄物は可能な限り資源化を図る等、環境負荷の低減に寄与した施設	(7)地球温暖化対策に寄与するための熱エネルギー効率（発電効率等）の向上
III.市民に関わられた施設	施設見学や環境学習等を通じ、環境教育、学習の拠点となる施設	(8)環境教育、学習拠点、市民利用エリアにおける対応 (9)環境体験（カーボンニュートラル関係）への対応
	災害時には公園と一体となって地域の避難拠点として、地域防災に貢献する施設	(10)平常時及び災害時等における地域への貢献
	情報公開と市民参画のもと、信頼性の高い施設運営管理する施設	
IV.周辺環境と調和した施設	余熱利用施設や公園との一体整備に配慮した建築デザインなど景観に調和した施設	(11)周辺の景観と調和した施設全体の外観デザイン
	余熱利用者や公園利用者にも開かれた施設とするための見学動線に配慮した施設	(12)周辺施設を含めた利用者に配慮した施設配置及び動線
V.経済性に優れた施設	建設から維持管理まで経済性や効率性に優れた施設	(13)適切な事業体制及び事業計画 (14)ライフサイクルコストの低廉化
	将来の大規模改修の動線計画や作業スペースを確保した施設	(15)地域社会における経済への貢献
VI.周辺施設と一体化した施設	地域の活性化、賑わい、健康づくりに寄与する施設	(16)周辺地域を含めた新たな価値の創出 (17)人々が集う機会の創出

(4) 総合評価

総合評価は、(2)の「提案審査」による評価点と(3)の「価格審査」による評価点を加えて総合評価点を算出し、落札者を決定する。総合評価点は、1,000点満点とする。

なお、総合評価点が同点の場合には、(2)の「提案審査」の評価点が高いものを落札者として決定する。ただし、(2)の「提案審査」の評価点も同点の場合には、提案の評価分類で「I.安全で安定的に処理が可能な施設」の評価が高い者を落札者とし、それでも順位が決定しない場合には、提案の評価分類で「II.環境に配慮した施設」の評価が高い者を落札者とする。それでも順位が決定しない場合には、当該者によるくじにより落札者を決定する。

総合評価点 = 提案審査による評価点 + 価格審査による評価点

4. 提案審査及び価格審査における点数化方法

1) 提案審査における評価の視点及び点数化の方法

非価格要素に関する評価項目・評価の視点及び点数化の方法については、以下のとおりとする。提案審査の配点は、600点（総合評価点は1,000点満点）とする。

(1) 提案審査における評価の視点及び配点

非価格要素に関する評価項目・評価の視点及び配点は表4のとおりとする。

表4 提案審査における評価項目・評価の視点及び配点

評価項目	評価の視点	配点
I. 安全で安定的に処理が可能な施設		120
(1)長期間のごみ量、ごみ質の変動への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ量、ごみ質の変動への対応性（低負荷、高負荷特性）及び処理可能なごみ質の範囲（処理能力曲線等） ・プラント設備全体として一貫した主要プラント機器等の設計容量の設定（合理的で安定稼働に資する、過大すぎない余裕率の設定） ・エネルギー回収施設において年間処理量をクリアするための各炉の稼働日数や最大稼働日数 	30
(2)安全で安定的な施設運営	<ul style="list-style-type: none"> ・施設運營業務を安定的に行うための人員、バックアップ体制 ・施設運營業務を安定的に行うための技術者の育成、研修、教育計画 ・安全衛生管理、健康管理、防災管理を含むリスク管理 ・施設運營業務期間終了時の引渡し条件 	30
(3)安全で安定的な運転・維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・安定稼働を行うための処理プロセス、システム ・安定的な運転、維持管理を目指した主要プラント機器等の仕様 ・安全で安定的な運転、維持管理のための適切な運転計画 ・事故、故障等が発生した場合の対応策等の備え（ごみを搬出できるバックアップ先への支援等を含む） 	30
(4)防災、減災に対応した施設、プラント設備	（土建関係） <ul style="list-style-type: none"> ・災害時における建築物、建築非構造部材、建築設備の耐震性能を確保するための方策 ・災害時及び浸水時の継続稼働又は早期復旧のための方策 	30
	（プラント設備関係） <ul style="list-style-type: none"> ・災害時等におけるプラント設備の耐震性能を確保するための方策 ・災害時等における外部電源の供給が断たれた場合の速やかな立ち上げ、エネルギー、薬剤、水等の確保 ・災害時及び浸水時の継続稼働又は早期復旧のための方策 	
II. 環境に配慮した施設		120
(5)循環型社会形成の推進に寄与するための公害防止性能	<ul style="list-style-type: none"> ・公害防止に係る基準値等を担保する設備や運営上の対策 ・公害防止におけるリスク回避のための方策 ・排ガスの削減量、削減の方策 ・蒸気を用いない白煙防止の方策や白煙が可視化される外気温、湿度 	30
(6)環境負荷の低減に寄与するための省資源化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・各ごみ質におけるごみ処理量あたりの用役使用量（①消費電力②燃料（都市ガス）③水④薬剤）及びその抑制方法 ・主灰、飛灰等の残さ物の品質確保の方法及び発生量の低減等 ・資源化物の資源化率の向上と保管、品質確保、資源化物の引渡しに係る維持管理方法 ・破碎不適物量の削減の方策 	40
(7)地球温暖化対策に寄与するための熱エネルギー効率（発電効率等）の向上	（プラント設備関係） <ul style="list-style-type: none"> ・施設全体のエネルギー効率を高めるプラント設備の仕様 ・発電効率、エネルギー回収率等の向上の方策 	50
	（建築、建築設備関係） <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー活用等の方策 ・省エネルギーに寄与する機器の採用等による省エネルギー化 	
	（運転管理関係） <ul style="list-style-type: none"> ・発電量の最大化と送電端電力量の最大化の方法 ・20年間の売電収入、消費電力量、売電量（余剰電力量） 	

評価項目	評価の視点	配点
III. 市民に開かれた施設		110
(8)環境教育、学習拠点、市民利用エリアにおける対応	<p>(環境教育、学習拠点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の特色を活かした環境教育、学習内容 ・視覚のほか、体感により楽しみながら効果的に啓発できる見学コースや展示 ・環境教育、学習内容、見学者コースや展示の陳腐化の防止策 ・余熱体験啓発棟や隣地整備の公園利用者が環境教育や見学コースに興味を持つ工夫 <p>(市民利用エリア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が利用するエリア（建物内外）におけるユニバーサルデザイン ・市民が利用するエリア（建物内外）における安全の確保 	40
(9)環境体験（カーボンニュートラル関係）への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・排ガス中のCO₂を有効利用し、市のカーボンゼロシティ宣言の取り組みとして、また、市民に対する環境教育、環境啓発に有効な方策 ・CO₂を回収、利用する技術等の変化への考え方 	50
(10)平常時及び災害時等における地域への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・平常時に市民が施設の稼働状況、運営状況等を容易にモニタリングできるための方策 ・災害時の避難施設としての対応 ・災害時における電気等の供給、対応 	20
IV. 周辺環境と調和した施設		90
(11)周辺の景観と調和した施設全体の外観デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱体験啓発棟と隣地整備の公園と一体性があり圧迫感を感じないデザインコンセプト ・要求水準等における施設コンセプトやメンテナンス性等を踏まえた、それぞれ特徴のある3案のデザイン ・施設が箱形ではないやわらかいデザイン、周辺に調和した色彩 ・煙突が周辺に与える圧迫感を和らげるための対応 	50
(12)周辺施設を含めた利用者に配慮した施設配置及び動線	<ul style="list-style-type: none"> ・運営、維持管理の効率性に配慮した、見学者等の利便性、安全性を確保した配置計画、動線（人と車両）の確保 ・周辺環境に配慮したランドスケープ（地域、市民への開放、植栽、屋上緑化等） 	40
V. 経済性に優れた施設		80
(13)適切な事業体制及び事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・責任ある業務遂行の方法（構成企業の倒産等における方策を含む。） ・適切かつ確実な財務管理を行うための円滑な資金手当ての確保 ・安心、安全のためのセルフモニタリング等の業務管理 	30
(14)ライフサイクルコストの低廉化	<ul style="list-style-type: none"> ・主要プラント機器等を35年間使用するために質の高いサービスを維持したライフサイクルコストの低廉化の方策 ・建築物等を35年間使用するために質の高いサービスを維持したライフサイクルコストの低廉化の方策 	30
(15)地域社会における経済への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備業務及び施設運営業務において市内業者の活用を図るための発注計画（発注金額等） ・施設運営業務における市民の雇用機会の創出（雇用者数、雇用計画） 	20
VI. 周辺施設と一体化した施設		80
(16)周辺地域を含めた新たな価値の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱体験啓発棟及び隣地整備の公園と、敷地内の庭園、遊歩道等、屋上緑化+眺望スペースとの、立体的なつながりをもたせる方策 ・余熱体験啓発棟及び隣地整備の公園と一体的に計画され、地域の特色を活かした健康や憩い、自然を感じることができる施設の方策 ・再度訪れたいような工夫、方策 	40
(17)人々が集う機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱体験啓発棟と隣地整備の公園の利用者を含めた来訪者が自由に利用、活用できる方策 ・遊歩道等は場内車輛と交錯することなく、かつ十分な距離とし、屋上緑化+眺望スペース等へも自由に楽しみながらアクセスできる方策 ・より多くの利用者を引き込む工夫、方策 	40

(2) 提案審査の点数化の方法

提案審査の点数化の方法については、表4に示す評価の視点にならない、表5に示す5段階評価によって審査を行い、点数化する。なお、点数化にあたっては、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで算定する。

表5 提案審査の採点方法（5段階評価）

評価	評価	評価の点数化
A	当該評価項目において非常に優れている。	項目ごとの配点×1.00
B	当該評価項目において優れている。	項目ごとの配点×0.75
C	当該評価項目において、具体的かつ適切な提案がなされている。	項目ごとの配点×0.50
D	当該評価項目において、適切な提案がなされている。	項目ごとの配点×0.25
E	要求水準を満足している。	項目ごとの配点×0.00

2) 価格審査の点数化の方法

価格審査の点数化の方法については、以下の算定方法とする。なお、点数化にあたっては、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで算定する。

また、価格審査の配点は、400点（総合評価点は1,000点満点）とする。

(1) 入札価格が基準額以上の場合

$$\text{価格点} = \text{基準点} \times \frac{\text{予定価格} - \text{入札価格}}{\text{予定価格} - \text{基準額}}$$

(2) 入札価格が基準額未満の場合

$$\text{価格点} = \text{価格審査の配点} - (\text{価格審査の配点} - \text{基準点}) \times \frac{\text{入札価格} - \text{限度額}}{\text{基準額} - \text{限度額}}$$

※入札価格：入札参加者から提出された入札価格

※基準額：予定価格の78%

※限度額：予定価格の72%

※基準点：価格審査の配点の92.5%の点数

5. 審査結果

1) 資格審査

市は、応募者から提出された一般競争入札参加資格確認資料について、資格審査を実施した。すべての入札参加希望者が競争参加資格を満たしていることを確認し、令和3年10月12日に入札参加希望者の代表企業へ入札参加資格確認結果の通知を発送した。

なお、入札参加者の名称については、審査の公正性・公平性を確保するため、審査委員会には企業名を匿名としたグループ名のみが示された。

グループ名は、「ポピー」グループ、「ラベンダー」グループ及び「あやめ」グループとした。

表6 入札参加資格確認申請書提出グループ

グループ名	ポピーグループ	ラベンダーグループ	あやめグループ
代表企業	日立造船株式会社 東京本社	川崎重工業株式会社	株式会社タクマ 東京支社
構成企業	五洋建設株式会社 関東営業所 株式会社川崎技研 Hitz 環境サービス株式会社	川重環境エンジニアリング株式会社	株式会社タクマテクノス 株式会社カンエイメンテナンス 久喜営業所
協力企業		株式会社大林組 関東支店 株式会社大建設 東京事務所 株式会社松永建設 株式会社久喜組 株式会社前田産業 東京支店 株式会社河野解体工業 株式会社ウィズウェイスト ジャパン 毎日興業株式会社	

2) 基礎審査

市は、資格審査を合格した入札参加者から提出された基礎審査資料について、入札参加者の提案が要求水準書等入札資料に示された性能要件を満足するものであり、かつ事業としての妥当性を有していることを確認した。

3) 提案審査

審査委員会は、入札参加者から提出された提案審査の提案内容について、「落札者決定基準」に基づき、5段階評価の得点化方法による非価格要素審査を行い、評価・点数を決定した（表7）。

4) 価格審査

入札参加者の立会いのもと市が開札を行い、入札金額を確認した。いずれの入札金額も、予定価格を超えていないことが確認された。

市は、審査委員会に開札結果を報告し、審査委員会では報告を受けて、落札者基準に基づき価格要素を審査し点数化を行った（表8）。

5) 総合評価

審査委員会は、3) 提案審査による得点と4) 価格審査による得点を加えて総合評価点を算定した（表9）。

6) 最優秀提案者の選定

審査委員会は、以上の結果に基づき、日立造船株式会社 東京本社を代表とする「ポピー」グループを最優秀提案者として選定した。

表7 提案審査の得点結果

評価項目	配点	ポピー	ラバンダー	あやめ
I. 安全で安定的に処理が可能な施設	120			
(1)長期間のごみ量、ごみ質の変動への対応	30	24.0	24.0	24.0
(2)安全で安定的な施設運営	30	22.5	18.0	22.5
(3)安全で安定的な運転・維持管理	30	22.5	21.0	22.5
(4)防災、減災に対応した施設、プラント設備	30	22.5	22.5	22.5
II. 環境に配慮した施設	120			
(5)循環型社会形成の推進に寄与するための公害防止性能	30	22.5	22.5	22.5
(6)環境負荷の低減に寄与するための省資源化への対応	40	30.0	30.0	30.0
(7)地球温暖化対策に寄与するための熱エネルギー効率の向上	50	47.5	30.0	40.0
III. 市民に開かれた施設	110			
(8)環境教育、学習拠点、市民利用エリアにおける対応	40	30.0	26.0	28.0
(9)環境体験（カーボンニュートラル関係）への対応	50	40.0	30.0	42.5
(10)平常時及び災害時等における地域への貢献	20	16.0	12.0	13.0
IV. 周辺環境と調和した施設	90			
(11)周辺の景観と調和した施設全体の外観デザイン	50	40.0	35.0	40.0
(12)周辺施設を含めた利用者に配慮した施設配置及び動線	40	32.0	26.0	28.0
V. 経済性に優れた施設	80			
(13)適切な事業体制及び事業計画	30	24.0	19.5	21.0
(14)ライフサイクルコストの低廉化	30	21.0	21.0	21.0
(15)地域社会における経済への貢献	20	16.0	13.0	13.0
VI. 周辺施設と一体化した施設	80			
(16)周辺地域を含めた新たな価値の創出	40	32.0	28.0	32.0
(17)人々が集う機会の創出	40	30.0	28.0	30.0
提案審査の評価点	600	472.5	406.5	452.5

表8 価格審査の得点結果

項目	配点	ポピー	ラバンダー	あやめ
入札金額（税込）		42,198,200,000 円	38,952,650,000 円	42,075,000,000 円
予定価格（税込）		54,101,000,000 円		
価格審査の評価点	400	370.0	400.0	371.1

表9 総合評価の結果

審査項目	配点	ポピー	ラバンダー	あやめ
代表企業名		日立造船株式会社 東京本社	川崎重工業株式会社	株式会社タクマ 東京支社
提案審査 評価点	600	472.5	406.5	452.5
価格審査 評価点	400	370.0	400.0	371.1
総合評価点	1,000	842.5	806.5	823.6

5. 審査講評

1) 提案審査の講評

提案書の提案審査に関する事項の各評価項目についての講評は、表10のとおりである。

表10 提案審査に関する事項の講評

評価項目	講評
I. 安全で安定的に処理が可能な施設	
(1)長期間のごみ量、ごみ質の変動への対応	・各グループとも、適切な余裕率、運転計画が提案されていると評価した。
(2)安全で安定的な施設運営	・ポピーグループとあやめグループは、賠償責任保険、地震補償保険等についての具体的な提案を評価した。
(3)安全で安定的な運転・維持管理	・各グループの具体的なバックアップネットワーク計画について、それぞれ評価した。
(4)防災、減災に対応した施設、プラント設備	・各グループとも、地震、水災への確実な対策を提案していると評価した。
II. 環境に配慮した施設	
(5)循環型社会形成の推進に寄与するための公害防止性能	・各グループとも、適切な運転・監視基準値を設定した排ガス処理対策、騒音・振動・悪臭対策が提案されていた。
(6)環境負荷の低減に寄与するための省資源化への対応	・各グループとも、省エネルギー・省資源、用役使用量の抑制、焼却残さ発生量の削減等について具体的な方策が提案されていた。
(7)地球温暖化対策に寄与するための熱エネルギー効率の向上	・各グループとも、発電効率、売電量を最大化する方策が提案されていた。 ・ポピーグループは、より実現可能な売電計画を提案している点を評価した。
III. 市民に開かれた施設	
(8)環境教育、学習拠点、市民利用エリアにおける対応	・様々な場所・階層・コンテンツでの見学・学習できる方策が提案されており、独自性・具体性・多様性をそれぞれ評価した。
(9)環境体験（カーボンニュートラル関係）への対応	・排ガス中のCO ₂ を有効利用に関する具体的な提案をそれぞれ評価した。
(10)平常時及び災害時等における地域への貢献	・一時的な避難者の受入計画、避難場所の配置等について、各グループの適切な提案を評価した。
IV. 周辺環境と調和した施設	
(11)周辺の景観と調和した施設全体の外観デザイン	・ポピーグループは箱型でないやわらかいデザイン、あやめグループは緑を多用したデザインを評価した。
(12)周辺施設を含めた利用者配慮した施設配置及び動線	・各グループとも、公園からの開放的な動線を提案しており、ポピーグループはより自由な動線を実現している提案を特に評価した。
V. 経済性に優れた施設	
(13)適切な事業体制及び事業計画	・資本金と内部留保に関する具体的な提案をそれぞれ評価した。
(14)ライフサイクルコストの低廉化	・各グループとも、耐久性、維持管理性を考慮した適切な点検補修計画が提案されていると評価した。
(15)地域社会における経済への貢献	・市民雇用、市内業者への発注に関する実現可能な提案について、それぞれ評価した。
VI. 周辺施設と一体化した施設	
(16)周辺地域を含めた新たな価値の創出	・周辺地域からのアクセス、遊具、リピーター獲得方策等の具体的な提案をそれぞれ評価した。
(17)人々が集う機会の創出	・屋上庭園の設備、屋上への遊歩道の周回性等の多様で具体的な提案をそれぞれ評価した。

2) 総評

本事業は、久喜宮代衛生組合が運営する3つの清掃センターのうち、菖蒲清掃センターを含む敷地に新ごみ処理施設を整備・運営する事業である。燃やせるごみを適正に処理するエネルギー回収型廃棄物処理施設、燃やせないごみ・粗大ごみ等を処理するマテリアルリサイクル推進施設及び管理棟、ストックヤード棟を一体的に整備するだけでなく、運営・維持管理を行うとともに、既存の菖蒲清掃センターを解体する複合事業である。

新ごみ処理施設は、20年という長期の事業期間にわたって、燃やせるごみ、燃やせないごみ・粗大ごみ等を安全かつ安定的に処理するだけでなく、高い公害防止性能により地域への環境負荷を可能な限り低減する施設であることが求められる。また、脱炭素社会づくりに向けた取組みとして、別途整備される余熱体験啓発棟及び隣地整備の公園に焼却処理による熱・電気を供給しつつ、周辺環境と調和した一体的な整備が求められている。さらに、災害に強い施設として、ごみ処理を継続するための配慮や危機管理体制の構築など、施設機能を保持していくための十分配慮する必要がある。

このような背景を踏まえ、施設の設計・建設及び運営・維持管理を一括して事業期間を通して発注するDBO（Design-Build-Operate）方式を採用しており、民間の創意工夫による提案を取り入れた良質な設計・建設業務と効率的かつ効果的な運営・維持管理業務を期待するものである。

入札に参加した3グループの提案は、本事業の目的や業務の内容について市が要求する水準を上回る提案内容であった。3グループにおいては、提案内容が多岐にわたることから、提案書の作成において多大な労力及び費用負担があったことが想定される。そうしたなかで提案をまとめた入札参加者の熱意に敬意を表するとともに、深く感謝する。

提案審査・価格審査においては、提案書及び入札価格に対して厳正なる審査を行った結果、日立造船グループによる提案が、市の期待する創意工夫と事業の効率性を高いレベルで両立していると評価されたものであり、最優秀提案者として選定するに至った。

なお、審査委員会における審議では提案内容に対して以下に示す配慮事項が挙げられた。

- 建設・運営を通して要求水準及び提案事項について誠意をもって確実に履行し、施設の安定稼働等を損なうことがないように対応すること。
- 今後、久喜市が実施する脱炭素社会づくり及び循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行などの取組みに協力すること。
- 職員には高度で幅広い技能が求められることから、教育・訓練を確実に実施すること。特に、現場総括責任者のマネジメント能力向上に努めること。
- 開放的で自由な往来・利用が可能な施設を実現しながらも、施設への迷い込み防止、セキュリティ・施錠管理など、来場者の安全、施設の保安に十分配慮すること。
- 災害時においても安定したごみ処理を最優先とすること。また、災害時においても避難者が安全かつ安心して過ごせるように、電力の確保など、適切な運転計画を実現すること。
- 積極的な市民雇用と市内業者への発注について、提案内容を確実に履行するとともに、更なる拡大に努めること。

今後は市と日立造船グループが連携しつつ事業を実施していくことになる。同グループは市が要求する水準を上回る提案であるが、上記の配慮事項について入札及び契約の公平性を妨げない範囲において本事業をより良いものとするために市と十分な協議を行い、真摯な対応に努め、今後の事業期間にわたり質の高い公共サービスを提供するよう期待する。